

H28年次 道路分野 選択科目Ⅱ-2 A市では、市街地において自転車の利用ニーズが高まっていることから、安全で快適な自転車通行空間の効果的な整備を推進するため、自転車ネットワーク計画を作成することとなった。この業務を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。(1)事前に把握・調査すべき事項 (2)自転車ネットワーク計画を作成する手順 (3)既存道路において、自転車通行空間の整備形態を選定する際に留意すべき事項 (2枚以内 横24×25 600\*2 1,200字以内)

## 1、事前に把握・調査する事項

転車専用通行帯等の自転車通行空間の整備形態を決定する。

### (ア) 自転車利用に関連する計画の把握

### (4) 自転車ネットワーク計画の決定

自転車利用に関わる地域の上位計画（都市マスタープラン、都市計画、総合的交通計画等）及び関連計画

コミュニケーション・合意形成を図った上で、完成

5 (国や地方自治体の道路整備計画、公共交通計画、自転車駐車場計画等)を把握する。

30 形態もしくは暫定形態を適用することや、緊急度に応じた整備優先度などを決定し、自転車通行空間の安全性の早期実現を図る。

### (イ) 自転車利用に関わる地域の概況把握

## 3、留意事項

地域の交通基盤、交通特性、道路空間の状況、交通規制の状況、地勢等、自転車利用者が多く利用する施

### (ア) 計画の把握の留意点

10 設の立地等の現状並びに計画について、必要なデータの調査を行う。

35 自転車利用に係る計画のみならず、地域で定めた交通安全、健康、環境、観光振興バリアフリーなどの福祉等に関する施策や計画を整理することが必要である。また、歩行者優先や今後の高齢社会への対応等の基本方針について把握することで、自転車利用者だけに特

特に、自転車の利用状況については、利用者層、トリップ目的、自転車利用率、主たる行動範囲、通行経路、路線別交通量について把握する。

## 15 2、自転車ネットワーク計画を作成する手順

### (イ) 地域の概況把握の留意点

### (1) 基本方針、計画目標の設定

自転車の利用状況を把握し、地域の上位計画や、関連計画、まちづくりの観点から課題を整理した上で基本方針、計画目標を設定する。

40 自転車のみならず、自動車や公共交通等の利用状況、道路空間の状況、交通規制についても把握し、自転車利用の状況と重ねることで、よりニーズにあった整備

### 20 (2) 自転車ネットワーク路線の選定

自転車ネットワーク計画の基本方針や計画目標に応じて、自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定する。

45 形態を作成できる。また、データ収集においては、地域で積極的に活動している民間やNPO等の活動団体との交流・連携の下で収集するなどして、精度の高いデータ収集に努める。

### (3) 整備形態の選定

25 路線毎に適切な区間設定をおこない、自転車道、自